

2018年6月6日

**AF/AE 追従で最高 18コマ/秒の高速連写をフルに活かす  
「OM-D E-M1 Mark II 12-40mm F2.8 PRO キット」を発売  
「防塵・防滴・耐低温(-10℃)設計」でコンパクトなシステムを実現**

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、AF/AE 追従で最高 18コマ/秒の高速連写を実現したフラッグシップ機ミラーレス一眼「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」に、大口径、高性能の「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」を組み合わせた「OM-D E-M1 Mark II 12-40mm F2.8 PRO キット」を2018年6月15日から発売します。

●主な特長

1. 大口径かつ高性能な M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO をセット
2. 一瞬を切り取る高速連写と AF 性能、AF/AE 追従で最高 18コマ/秒の連続撮影を実現
3. カメラ、レンズともに「防塵・防滴・耐低温(-10℃)設計」によりハードな撮影シーンに対応
4. 高速画像処理エンジン「TruePic VIII」&有効画素数 2037 万画素 Live MOS センサーによる高画質
5. 進化したボディー内 5 軸手ぶれ補正+電子手ぶれ補正で安定した高画質、4K 対応 OM-D MOVIE

●発売の概要

カテゴリー	製品名	希望小売価格	発売日
マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ	「OM-D E-M1 Mark II 12-40mm F2.8 PRO キット」	オープン価格	2018年 6月15日(金)



「OM-D E-M1 Mark II 12-40mm F2.8 PRO キット」

## ●主な特長の詳細

### 1. 大口径かつ高性能な M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO をセット

今回のキットレンズ「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」は、35mm 判換算で 24-80mm 相当の全焦点域を F2.8 の大口径でカバーしながら、「マイクロフォーサーズシステム規格」の特徴を生かした小型・軽量設計により、システム全体のコンパクト化を実現しています。高性能硝材を効率的に使用することで高性能の単焦点レンズに匹敵する高い描写性も実現、透過率が良く、防ぐことが困難だったゴーストやフレアを徹底的に排除する ZERO (Zuiko Extra-low Reflection Optical) コーティングを、レンズ表面に施しました。全焦点域で 20cm まで可能な高い近接性、望遠端では、レンズ先端 7cm の接写が可能。最大撮影倍率 0.3 倍 (35mm 判換算で 0.6 倍) のクローズアップ撮影が可能です。MSC (Movie and Still Compatible) 機構による高速な AF 能力を備えるなど機能面でもハイレベル。デジタルシネマ規格の 4K ムービーを撮影できる「OM-D MOVIE」においても、大口径のこのレンズを組み合わせることで高画質かつ大きなボケが得られ、動画撮影の表現を広げることができます。

### 2. 一瞬を切り取る高速連写と AF 性能、AF/AE 追従で最高 18 コマ/秒の連続撮影を実現

高速画像処理エンジン「TruePic VIII」は、4CPU コア+4 画像処理コアのダブルクアッドコアシステム構成により、「TruePic VII」比約 3.5 倍の高速画像処理速度を達成。同じく Live MOS センサーは有効画素数 2037 万画素に高画素化すると共に 121 点オールクロス像面位相差センサーを搭載するなど、機能を向上させながら、「OM-D E-M1」比で約 3 倍となる転送スピードを実現しています。それらの相乗効果で、2037 万画素のフル画素を保ちながら、AF/AE 追従で最高 18 コマ/秒の高速連続撮影が可能になっています。同じく、撮りたい瞬間をタイムラグなしでフル画素撮影できる「プロキャプチャーモード」も搭載するなど、高速化と高画質化の両立を実現しています。

### 3. カメラ、レンズともに「防塵・防滴・耐低温(-10℃)設計」によりハードな撮影シーンに対応

「OM-D E-M1 Mark II」、「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」のいずれも、各部に効果的にシーリングを施し、高い防塵・防滴・耐低温性を備えています。小雨や雪、波しぶきがかかる場所、長時間屋外に置かれる夜景撮影など、普通のカメラにとってはハードなシーンにおいてもスムーズな撮影が行えます。背面モニターはコンパクトなボディーサイズを維持しながら、さまざまな角度に調整できるバリエーション液晶となっており、高い機動性と撮影時の使いやすさを両立しています。

### 4. 高速画像処理エンジン「TruePic VIII」&有効画素数 2037 万画素 Live MOS センサーによる高画質

高速画像処理エンジン「TruePic VIII」の採用により、高感度撮影時の画質が飛躍的に向上し、ディテールを残したままノイズが少ない映像を得ることが可能となりました。さらに新開発の有効画素数 2037 万画素 Live MOS センサーは、高画素化とローパスフィルターレスによる解像度のアップとともに、画素特性の改善による階調表現の向上も達成、APS-C サイズセンサー搭載機にも匹敵する広いダイナミックレンジを実現しています。そのため、明暗差の大きなシーンでも滑らかな再現が可能になっています。また、センサー上にあるガラス両面に反射防止の AR コートを施すことで、フレアやゴーストを軽減、よりクリアな画像を実現しています。

### 5. 進化したボディー内 5 軸手ぶれ補正 + 電子手ぶれ補正で安定した高画質、4K 対応 OM-D MOVIE

フルハイビジョンの 4 倍の解像度を持つ 4K 動画は、ぶれの影響を受けやすく、動画専用の三脚やミニジブ、クレーンなど各種アクセサリを併用して撮影することが一般的でしたが、「OM-D E-M1 Mark II」では強力な 5 軸手ぶれ補正に動画専用の電子手ぶれ補正 (M-IS) を組み合わせることで効果的に手ぶれを抑え、4K 動画の手持ち撮影を可能にします。また映画制作など本格的な業務用映像に利用できるデジタルシネマ規格 4K (4096 × 2160 ピクセル)、フレームレート (24P)、高ビットレート (237Mbps) に対応しています。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。